

## 民間団体助成の対象可能性がある取組みと構成要素の例

- ※ ここで挙げる以外にも、震災によって生じた取組み（震災がなければやらなかったであろうこと）は基本的に申請対象になると考えて良いと思われます。
- ※ 構成要素は一例ですので、実態に合わせて加除修正してください
- ※ それぞれの単価は、各事業所で検討してください。その際、請求書や領収書など、証拠が残るものがあればベストです（なくても金額に理屈がつくものがあれば計上しましょう）
- ※ それぞれの取組みは、個別に助成申請しても良いですし、ある程度取りまとめて金額のボリュームを調整しても良いと思います（その際の取りまとめ方は、「震災への緊急対応」部分と「事業の継続に向けた対応」に大分類すると整理されると思います）

### 1 被災した人への炊き出し（授産品の提供）

震災後に障がいのある人、地域の人などへ炊き出し（授産品の提供）を実施した場合に助成申請します。

（構成要素）

- ・ 原材料費
- ・ 炊き出し担当職員人件費（時給 × 実働時間数 × 人数）
- ・ 授産品の提供の場合は、販売単価 × 提供個数
- ・ デリバリーした場合は、デリバリーに要した人件費とガソリン代（職員人件費は、時給 × 実働時間数 × 人数、ガソリン代は、想定走行距離 ÷ 使用車両の平均燃費 × その地域の標準的リッター当たりガソリン代）

### 2 支援物品の受入れ

各地からの支援物品の受入れや整理、仕分け、コーディネートなどを行った場合に助成申請します。

（構成要素）

- ・ 支援物品受入れ（コーディネート）担当職員人件費（時給 × 実働時間数 × 人数）
- ・ 受入れ倉庫として活用した建物の家賃相当額（その地域の標準的な家賃から利用部屋数を割り返して算出）

・デリバリーした場合は、デリバリーに要した人件費とガソリン代（職員人件費は、時給 × 実働時間数 × 人数、ガソリン代は、想定走行距離 ÷ 使用車両の平均燃費 × その地域の標準的リッター当たりガソリン代）

### 3 避難所の開設

震災後に家屋を失った人などの避難を受け入れた際に助成申請します。

（構成要素）

- ・提供した食事の費用（1食〇〇円 × 食数分）
- ・避難所担当職員人件費（時給 × 実働時間数 × 人数）
- ・家賃、水光熱費相当額（負担を求めている場合、家賃はその地域の標準的な家賃を利用人数で割り返して算出）

### 4 広域送迎への対応

震災によって交通機関が寸断され、従来よりも広域の送迎が必要になった場合に助成申請します。

なお、広域送迎を要する主な要因が鉄道や道路設備の損壊の場合は、代替バスの運行など、ある程度の復旧まで（1年くらい）が目安になります。

（構成要素）

- ・送迎担当職員人件費（時給 × 実働時間数 × 人数）
- ・ガソリン代（想定走行距離 ÷ 使用車両の平均燃費 × その地域の標準的リッター当たりガソリン代）

### 5 障がいのある人やご家族、職員のメンタルケアや、事業所再建のコンサレーション

震災による心理的負担（ダメージ）のケアや事業所再建方策などを専門スタッフに依頼する必要がある場合に助成申請します。

（構成要素）

- ・専門スタッフの謝金（1回3～5万円 × 人数）
- ・往復の交通費、宿泊費（実費）

## 6 その他

その他の助成申請候補として考えられるものは、次のとおりです。

- ・授産作業用の機器更新（地震や津波で損壊した、など）
- ・送迎用車両の更新